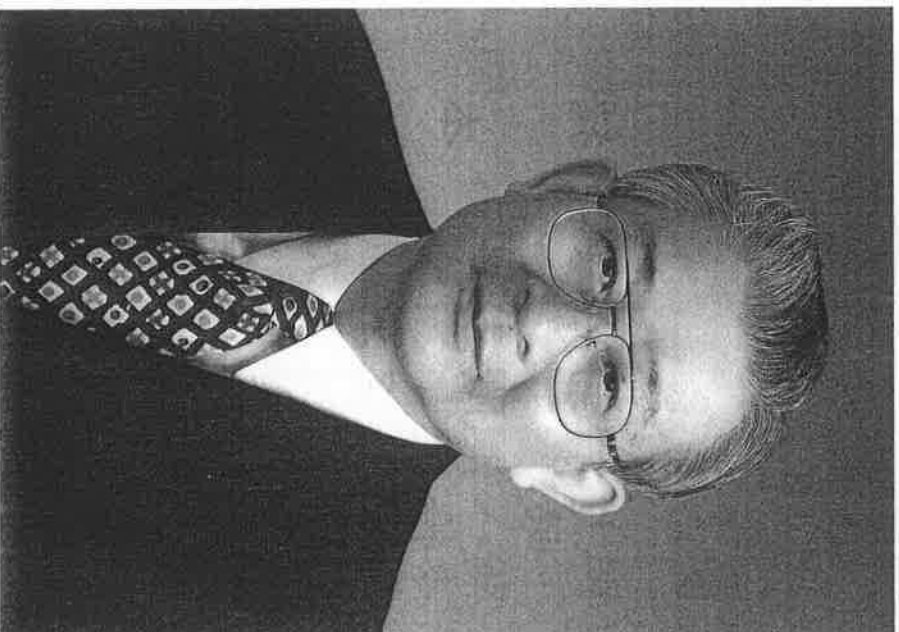


猪本 乙矢



概要

氏名 猪本乙矢 (いのもと おとや)

職業 猪本ヴァイオリン教室主宰
熊本ユースオーケストラ理事長

住所 熊本市大江2丁目4-17

主な活動地 熊本県・東京都・東アジア地域

(地域文化活動部門)

猪本乙矢氏は、昭和三十四年の帰熊以来、「どの子も育つ 育て方 ひとつ」という故鈴木鎮一氏の教えを実践し、多くの青少年に音楽のすばらしさを伝えるとともに、若き演奏家の育成にも力を注いできた。同氏の主宰する教室からは、日本で初めてヴァイオリニストとして音楽学博士号を取得した緒方恵氏をはじめ国内外で活躍する演奏者を輩出している。

同氏はオーケストラ活動を通じて、若い世代の社会的、協調性、豊かな人間性を育てることを目的として、昭和三十九年に熊本ジュニアオーケストラ（後に熊本ユースオーケストラと改称）を結成。指揮者兼理事長に就任し、毎年夏に定期演奏会を実施するとともに二回にわたるヨーロッパ演奏旅行を成功させ、同オーケストラを県内はもとより海外にも知られるまでに育て上げた。

その他昭和五十九年からは、熊本バレエ劇場の「くるみ割り人形」全幕公演のオーケストラのマネジメントを行ったり、熊本児童合唱団、熊本少年少女合唱団からなる青少年音楽連盟を結成して、青少年コンサートを実施するなど、他の団体と連携した活動も精力的に行っている。

また、同氏は昭和六十年から熊本国際青少年フェスティバルの実行委員、企画運営委員として中心的な役割を担うとともに、昭和六十二年にはアジア十カ国と二地域の才能ある若い音楽家によって編成されるアジアユースオーケストラの設立にも携わり、現在も日本代表として活躍している。

更に、平成十一年の熊本未来国体では、公開競技スポーツ芸術部門で「21世紀へのおくりもの 1999そして明日へ」で音楽監督を務め絶賛を博した。

このように同氏の活動をあげると枚挙に暇が無く、今後も、熊本の音楽の普及や青少年の育成はもとより、国際文化交流の面での活躍が多いに期待されている。

これまでの活動歴

昭和三十一年	社団法人才能教育研究会師範科（国際バスミン） 「音楽院」入学 ヴァイオリンと指揮法を会長の鈴木鎮一氏に師事 才能教育熊本支部指導者として帰熊 ヴァイオリンの幼児教育を開始
昭和三十九年	熊本ジュニアオーケストラを設立し指揮者となる 熊本ジュニアオーケストラを熊本ユースオーケストラ
昭和四十七年	熊本ジュニアオーケストラを熊本ユースオーケストラ に改組し理事長に就任
昭和五十一年	熊本ユースオーケストラ第二回ヨーロッパ演奏旅行を 実施（スイス、フランス、イギリス）
昭和五十九年	熊本ユースオーケストラ第二回ヨーロッパ演奏旅行を 実施（オーストラリア、ドイツ、オランダ） 熊本バレエ劇場「くるみ割り人形」全幕公演のオーケ ストラマネジメントを行う
昭和六十年	熊本国際青少年音楽フェスティバル（主催熊本県）の実 行委員、企画運営委員を委嘱される
昭和六十二年	アジア十カ国と二地域からなるアジアユースオーケス トラ（本部、香港）を設立し日本代表となる
平成元年	熊本県文化振興審議委員会を委嘱され、二期を務める 熊本ユースオーケストラ第三回ヨーロッパ旅行を実施 （ロシア、オーストラリア、ドイツ）
平成五年	熊本ユースオーケストラ第三回ヨーロッパ旅行を実施
平成十年	日本青少年交響楽団第二回ヨーロッパ演奏旅行の団長 に就任
平成十一年	熊本未来国体の公開競技スポーツ芸術部門 「21世紀へのおくりもの 1999そして明日へ」の 上演に参加し音楽監督を務める